

町史編集については、現在「文献史料編」、「自然編」、「産業編」、「民俗編」の4つの編集作業を行っています。引き続き、編集計画に基づいて調査および資料の収集を行い、刊行に向けて取り組み、久米島町の記録を後世へ伝えることに努めます。

4 公共事業の取り組み

公共事業については、地域経済の振興と地元企業の育成を図るため、地元企業で対応できるものは地元企業への優先発注に努めています。県発注工事についても同様な取り組みを行うよう要請してまいります。

町民の生活や福祉の向上及び産業振興の基盤となる施設整備を推進してまいります。

本町は離島という地理的特性から、町民の生活の利便性向上と観光振興を支える基盤として、海上交通および航空路を核とした島内外交通網の確保と機能強化が不可欠であります。安定的な運航体制の維持については国・県の関係機関および交通事業者との連携のもとで取り組みでまいります。島内交通・二次交通については、担い手不足など顕著化した課題への対策を図ってまいりましたが、今後とも安全・安心を第一に、更に利便性の向上策に継続して取り組み、地域経済や観光業の発展を目指します。

なお、交通に限らず島内の貨物輸送の持続可能な体制の構築に向け、大型免許の取得に係る費用の一部を

5 防災減災への取り組み

防災体制については、近年頻発している地震や大規模災害に備え迅速・適切に対応するため、地域防災計画及び防災ハザードマップの活用により常日頃から防災意識の高揚を図り、初動体制が図られるよう推進し防災体制の強化に努めてまいります。

災害時において正確で迅速な情報提供が重要となっており、情報収集体制を強化し、防災行政無線やSNS等の活用、FMくめじまとの連携により災害発生時の即時対応に努めてまいります。

災害時の対応力や安全に避難行動ができるよう、医療福祉機関や地域が連携した防災訓練を実施します。また、要支援者に対しては、個別避難計画を作成し、避難支援体制の構築を進めるとともに、すべての町民が災害時に適切な支援を受け、安全に避難できる環境づくりを行い、国・県との更なる連携強化を図ってまいります。

消防体制については、高齢化の進展等により救急需要は増大しております

に掲載し普及啓発活動に取り組んでまいります。

生業・産業について

7 農林水産業の活性化

農業振興については、地域および農家の実情に即した農地の確保と有効活用を推進するため、農地の流動化を進め、生産基盤の強化と地域経済の安定を図ります。あわせて、農業従事者の担い手を確保するため新規就農者には営農指導と就農支援を一体的に提供するとともに、認定農業者の育成・支援を強化し、持続可能な農業の実現に取り組んでまいります。

6 上下水道事業の推進

上下水道事業については、安全・安心な生活水の安定供給を維持するため、水源施設及び浄水場等施設の適正管理に努めます。また、今後10年間の新たな上下水道事業基本計画に基づき、老朽化した水道施設や設備について整備更新を図ってまいります。

下水道布設工事について、昨年度から山城地区の管路布設工事が始まり本年度も引き続き県道の管路布設工事を実施いたします。また、接続率向上につくま

して広報誌やホームページ

